

東京都廃棄物審議会
散乱ごみ対策検討部会第2回
会議次第

日時 令和8年10月22日（木） 10時00分～12時00分

形式 WEB会議

議事 （1）事業者の取組

（2）その他

＜配付資料＞

- 資料1 東京都廃棄物審議会散乱ごみ対策検討部会委員名簿
- 資料2 一般社団法人日本フランチャイズチェーン協会の取組
- 資料3 一般社団法人全国清涼飲料連合会の取組
- 資料4 公益社団法人食品容器環境美化協会の取組
- 資料5 東京都たばこ商業協同組合連合会の取組
- 資料6 関東鉄道協会の取組
- 資料7 東日本旅客鉄道株式会社の取組
- 資料8 一般社団法人日本旅行業協会の取組
- 資料9 特定非営利活動法人 green bird の取組
- 資料10 検討スケジュール（予定）
- 参考資料 東京都廃棄物審議会運営要綱

東京都廃棄物審議会散乱ごみ対策検討部会委員名簿

(敬称略、五十音順)

栗生木 千佳	独立行政法人 国際協力機構(JICA)地球環境部 環境管理・気候変動対策グループ アソシエイト専門員
織 朱 實	上智大学大学院地球環境学研究科 教授
町 野 静	弁護士法人イノベンティア 弁護士
村 上 進 亮	東京大学大学院工学系研究科 教授
森 朋 子	立教大学環境学部環境学科 准教授
森 本 英 香	早稲田大学法学部 教授



外食業、小売業における街の美化・散乱ごみ対策に関する取組みおよび課題等について(10.22)

一般社団法人

日本フランチャイズチェーン協会



(一社)日本フランチャイズチェーン協会(JFA)とは

- ◆設立: 1972年
- ◆目的: フランチャイズ・システムの健全な発展を図る
- ◆活動: 調査研究、規範策定、普及啓発(広報活動)、指導・相談(FC相談)
社会貢献(防犯・防災対策、環境対策等)、会員交流、国際業務等
- ◆構成: フランチャイザー及びフランチャイズ・ビジネスに関心を持ち
当協会の趣旨に賛同する企業(会員社: 2026年7月現在 467社)
※正会員: 102社、準会員: 11名、研究会員: 105社、賛助会員: 249社

【JFA調査フランチャイズ業界の市場規模】(2024年度)

	チェーン数	店舗数	売上高(百万円)
小売業(A)	307 (53)	109,670 (64,334)	21,559,834 (13,109,697)
(A)の内、コンビニ	16 (16)	57,170 (57,170)	12,247,019 (12,247,019)
外食業	547 (157)	51,865 (26,164)	4,629,072 (2,847,787)
サービス業	437 (95)	92,943 (32,907)	3,093,676 (1,111,857)
合計	1,291 (305)	254,478 (123,405)	29,282,582 (17,069,341)

※ () 内は、J F A会員



第17代会長 星野 正則
株式会社ドトールコーヒー
代表取締役社長

1. 活動内容

- (1) 脱炭素、プラスチック対策、食品ロス削減等への対応
- (2) 環境政策・法令に関する情報共有
- (3) 会員企業の取組事例共有・意見交換
- (4) 関係省庁等による説明会・勉強会の開催

2. 開催頻度

毎月開催

3. 参加企業(18社※順不同)

(1) 外 食

(株)壺番屋、(株)ダスキン、タリーズコーヒージャパン(株)、(株)ドトールコーヒー、日本マクドナルド(株)、日本ケンタッキー・フライド・チキン(株)、B-Rサーティワンアイスクリーム(株)、(株)不二家、(株)ペッパーフードサービス、(株)モスフードサービス、(株)吉野家ホールディングス

(2) 小 売

(株)オートバックスセブン

(3) コンビエンスストア

(株)セイコーマート、(株)セブン-イレブン・ジャパン、(株)ファミリーマート、ミニストップ(株)、山崎製パン(株)デイリーヤマザキ事業統括本部、(株)ローソン

外食業における取組事例



タリーズコーヒージャパン株式会社

◇ 街の美化・散乱ごみ対策に関する主な取り組み

- 東京都アダプトプログラムや地域の清掃活動への参加
- 店舗前の清掃実施
- 施設主催の清掃活動への参加

地域活動への参加



＜台東区＞【大江戸清掃隊】
隅田公園内の店舗において
月に1回地域の方々と、街の
美化活動を実施しています



＜東京都＞
【ふれあいロードプログラム】
神楽坂の本社前において、月に
1回清掃活動を実施しています

日々の清掃活動

【施設主催清掃活動への参加】
商業施設やオフィスビルなど、
施設主催の地域清掃活動に
積極的に参加しています

【店頭清掃の実施】
毎日自店舗前の清掃を実施し、
店舗周辺の美化活動に取り組んで
います

◇ 現場で感じている課題

- 店内に自社製品以外の持込ごみが多く、処理費用負担増となっている
 - ・ 新聞、会社や商品などのパンフレット・書類、弁当など持ち帰り容器、壊れた傘など
 - ・ 自社製品以外の商品（ビン、缶、ペットボトル、他社商品など）
 - ・ 客席に放置されたものはお忘れ物との見分けが難しく、保管・届出などの負担
- 植え込みや排水溝などにゴミを押し込む行為、地下鉄出口などのたばこのポイ捨てなど、防災上問題が生じかねない行為

街の美化・散乱ごみ対策に関する主な取り組み



地域と連携した美化活動（渋谷区：本社所在地）

渋谷区民・勤労者・自治体と「渋谷駅周辺美化活動」に参加。
毎年4月28日(しぶやの日)やハロウィン翌朝には、最大150団体・
約1,000人で一斉清掃を行います。
2005年以降に延べ1,200名超の社員が参加しています。



店舗での日常清掃

店舗では店頭の清掃・設置物基準を設け、管理しています。
営業中は自店の店前だけではなく、周辺の歩道まで含めて適時清掃
をしています。

現場で感じている課題

01 繰り返されるポイ捨て

吸い殻や容器が同じ場所に集まりやすく、清掃
に加え、ポイ捨てを減らす働きかけが必要です。

02 そもそも捨てる場所が少ない

公共のゴミ箱が少なく、外出先で派生するゴミを
全て持ち帰らせることは難しいと感じています。

03 継続できる地域連携

店舗・行政・地域団体が情報を共有し、清掃と
啓発を無理なく続ける仕組みが求められます。



株式会社モスフードサービス



モスバーガーでは、各店舗でスタッフが朝に行う「朝課」という活動があります。

この取り組みが浸透し、現在では地域の加盟店も含め、「海岸清掃」や「地域清掃」などに自主的に取組んでいます。

毎朝、向こう三軒両隣の清掃がくれる、
街とのあたたかいお付き合い。

モスのお店ではスタッフが朝に行う
「朝課」という活動があります。店頭の掃除も、そのひとつ。
でも、モスは自分のお店の前だけではなく、
向こう三軒両隣の前をキレイにします。
はじまりは、第1号店の前を掃除する創業者の言葉でした。



「見てごらん、道路にゴミが落ちているね。
これをキレイにしたら、
通勤・通学の人が気持ちよくなるよ。
向こう三軒両隣をいつもキレイにしておけば
皆気持ちよく通れるじゃないか。
また、汚れたものをキレイにすると
自分の気持ちまでキレイになっていくんだぞ。」

「朝課」は、ご近所の方々と
あたたかい交流も与えてくれます。
「おはようございます。」
「おはよう、いつもご苦労さま。」
すれ違う方々とそんなあいさつを交わすことも。
地域の方々と関わるよろこびを心から感じながら、
モスはこれからも毎朝の清掃に取り組んでいきます。



小売業における取組事例



株式会社セブン-イレブン・ジャパン

取組み例①

■外部団体への協賛『スポGOMI甲子園』

- ・「日本財団」の取組みとして2019年に開始
- ・当社は2022年より協賛をスタート

■イベント内容

- ・高校生によるごみ拾い日本一を決める大会

■当社としての協賛目的

- ・未来世代との関わりや、取組みを報じるメディアを通じて環境保全活動、地域貢献を図ること

(関連URL)



<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000001108.000155396.html>

(2025年度の様子)



取組み例②

■環境助成活動

- ・当社より助成している一般社団法人「セブン-イレブン記念財団」を通じ様々な環境活動への助成を実施

(関連URL)

<https://www.7midori.org/josei/dantai/>



課題感

- ・現実的にCVSが唯一の街中のゴミ回収場所となっている。自店商品以外の持ち込みが多く、人的面含めた負担が大きい

【取組み】

◆地域・行政と連携した清掃活動の継続

ハロウィンなどの大規模イベント翌日には、店舗スタッフだけでなく本部メンバーも合流し、早朝から行政やNPOと一緒に街頭・地域清掃を長年にわたり継続して実施している。

【現場で感じている課題】

◆繁華街における散乱ごみの「風景化(常態化)」

繁華街では、街にごみが散乱している状況が日常の風景として同化してしまっており、人々の美化に対する意識やポイ捨てへの抵抗感が薄れているように感じる。日中はそれほどではないが、深夜から早朝にかけてのごみ散乱がひどい状況となっている。

◆自店舗以外のごみの持ち込み・投棄

家庭ごみや他店で購入された商品のごみが自店舗に捨てられることが常態化しており、一企業・個店での対応・負担には限界が生じている。特に繁華街では一店舗あたり10～20袋もの量にもなり、店舗スペースの制約上、これらを店内等で保管しきれない状況に陥っている。

◆大規模イベント開催時のごみの集中

花火大会等の特殊なイベント時には、店舗にごみを捨てて帰る来街者が非常に多く、店舗運営の大きな負担となっている。



【取組み】

・クリーン&グリーン活動

イオングループの一員として、月に一度、本社イオンタワーの周辺を清掃しています。クリーン活動とは、単なる清掃活動ではなく「心のクリーン」すなわち自ら進んで行う社会奉仕活動と意義付けています。また、グリーン活動は植樹活動を含め、広義の自然環境保全と捉えています。

・イオンハートフル・ボランティア

イオングループの一員として、年に一度南関東エリアの活動として継続されている「幕張の浜ビーチクリーン活動」に参加しています。本活動を通じて海洋プラスチックによるごみ問題について考える機会とし、地域のお客さまや企業、活動団体とともに取組み、地域での連携強化を推進しています。

【課題】

- ・路上で飲食をされた後、そのごみを店頭に放置されるケースがあります。
- ・自治体により内容は異なりますが、分別が厳しくなり、店舗店内ごみ箱にも細かく分別内容が分かるように案内を添付している店舗も多く、面倒な方は外に放置されていることも想定されます。
- ・ごみ回収業者が回収するまで保管する倉庫に収納しきれないほど、店頭ごみが集まるケースがあります。

【都内繁華街を管轄するエリアにおける取組み】

- ・ごみ箱を店頭設置から店内設置に変更することで、店頭ごみの散乱を防止するとともに、お客様以外の持込みごみの投入を抑制している。

【現場で感じている課題】

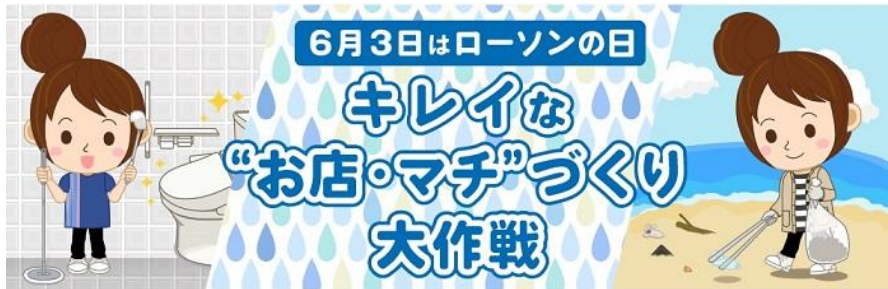
- ・店内設置のごみ箱がインフラのように認識され、お店が持込みごみの受入れ、処分という役割を担っているため、処分費用、ごみ袋代等の経費負担や袋交換に要する人的負担が発生している。また、時間帯によってはごみ箱の容量を超えて廃棄されることがある。
- ・昼間では大きな問題が発生していなくても、夜間にアルコール飲料の空き缶やたばこの吸殻が店頭に散乱する店舗がある。
- ・灰皿未設置にもかかわらず、店頭に吸殻を捨てられてしまう店舗がある。

自社の取組・課題照会

【取組み】

- ・店舗近隣の清掃活動に継続的に取組む加盟店を表彰
- ・店舗での取組みをきっかけに、ローソングループ社員も参加の清掃活動を拡大実施
- ・2026年6月3日のローソンの日には、「キレイな“お店・マチ”づくり大作戦」として全国で清掃活動を実施

※ローソングループ社員996名／加盟店233名※



【課題】

- ・コンビニの店内ごみ箱に家庭ごみが持ち込まれ、清掃作業や費用が大きな負担になっている
- ・上記を踏まえ、ごみ箱の撤去を希望する店舗の声も多数あがっている

近年、来街者や訪日外国人旅行者の増加、イベント開催の活発化等により、駅周辺や繁華街、観光地を中心に散乱ごみや店舗への持ち込みが課題となっている。小売・外食事業者では、店舗周辺の清掃活動や業態や店舗の利用実態に応じたごみの適正管理等を通じて地域の環境美化に取り組んでいるものの、家庭ごみ等が持ち込まれるケースが多く、店舗によっては保管スペースを超える量のごみが持ち込まれる等、本来事業活動に伴わないごみへの対応負担が生じている。

また、東京23区における事業系一般廃棄物処理手数料は2023年に改定が行われ、2017年に改定した手数料より約15%上昇したほか、収集運搬費や人件費の上昇を背景に、処理費用は上昇傾向にある。さらに、人手不足が深刻化する中、店舗清掃やごみ管理に係る人的負担も増加しており、ごみ処理に係る事業者負担は年々増加している。散乱ごみ対策は、行政、地域住民、来街者、事業者が連携して取り組むべき課題であり、特定の事業者のみが負担を担うのではなく、社会全体で支える仕組みづくりが必要であることから、以下を要望する。

◆公共ごみ箱等の整備

東京都ではスマートゴミ箱等の設置を進めているところであるが、駅周辺や繁華街、観光地等における公共ごみ箱の更なる設置を推進し、来街者や観光客が迷わずにごみを廃棄できる環境を整備していただきたい。

また、花火大会や季節イベント等、広範囲に来場者が滞留し街全体が会場となるイベントについては、ごみ回収拠点の整備や回収体制の強化を行うとともに、イベント来場者による周辺店舗へのごみ持ち込みが集中しないための対策を講じていただきたい。

◆ごみの適正廃棄及び持ち込みごみ防止に向けた普及啓発の強化

ポイ捨て防止や適正廃棄、ごみの持ち帰り徹底に向けた普及啓発を強化するとともに、店舗へのごみ持ち込み防止に向けた来街者や観光客への啓発を推進していただきたい。

TOKYOクリーンアップアクションの強化に向けて

～散乱ごみに対する全清飲の取り組みと今後の連携のお願い～



一般社団法人
全国清涼飲料連合会

全清飲とは・・・

一般社団法人全国清涼飲料連合会（略称：全清飲）

清涼飲料水製造企業の会員企業ならびに関連する業界の賛助会員で構成。前身母体の全国清涼飲料水同業組合の時代から数えると100年以上の歴史をもつ清涼飲料水の業界団体です。

66会員

組合会員

（中小清涼飲料製造・販売業者）

19会員 **144**社

225社

企業会員

（清涼飲料製造・販売業者）

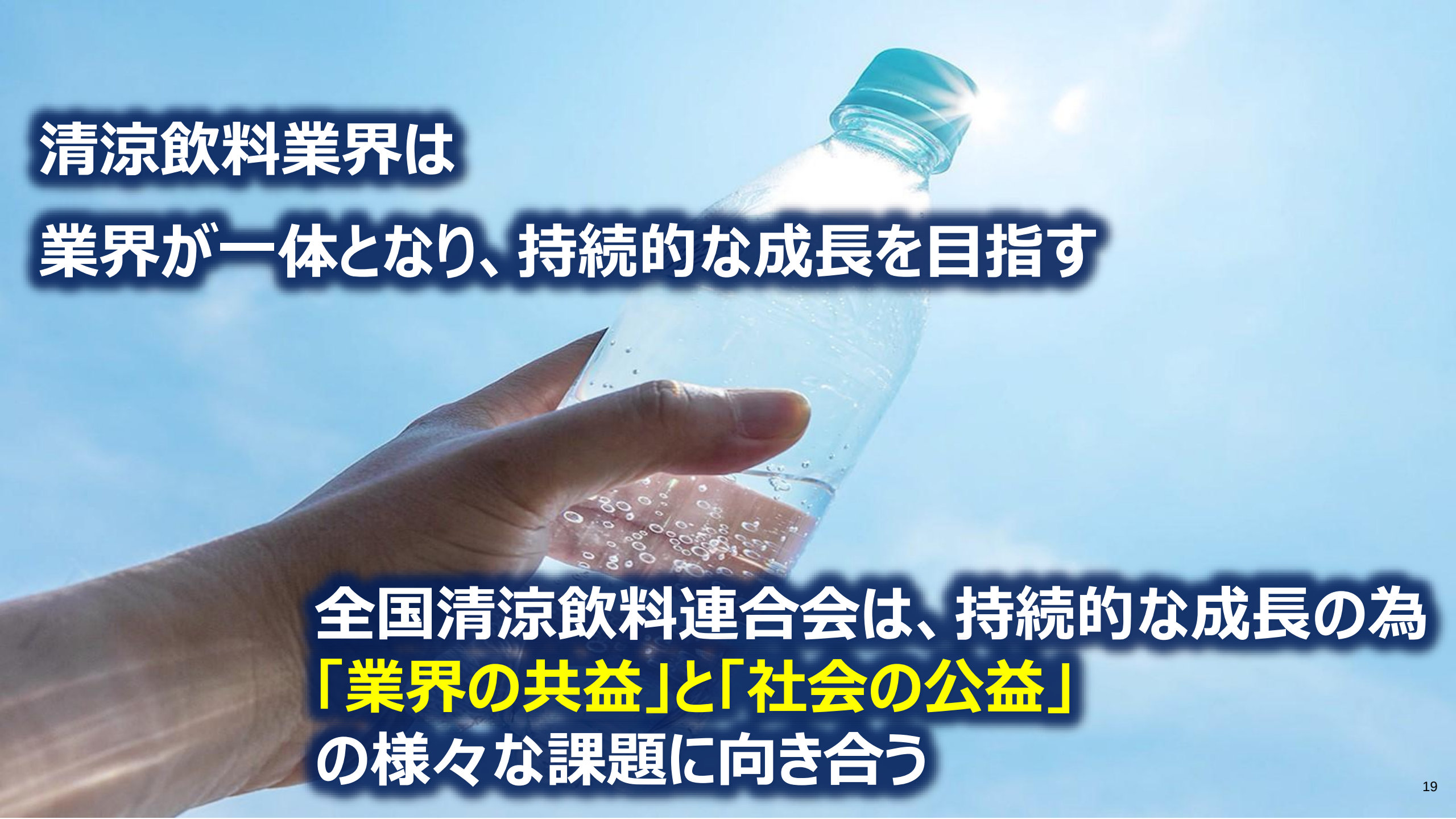
47会員 **81**社

賛助会員

（関係業者等）

156社

2026年5月末現在



清涼飲料業界は

業界が一体となり、持続的な成長を目指す

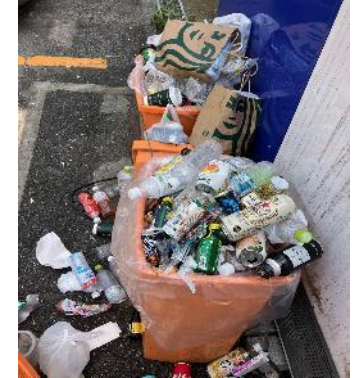
全国清涼飲料連合会は、持続的な成長の為
「**業界の共益**」と「**社会の公益**」
の様々な課題に向き合う

散乱ごみに関する現状認識

1

街頭の散乱ごみは

自治体・地域（自治会/個人）事業者の努力で一定の改善。
その一方で「回収先がない」状況が続いている



2

リサイクルボックスは

飲料容器の回収ボックス。**ごみ箱ではない**、という前提が認識・共有
されていない

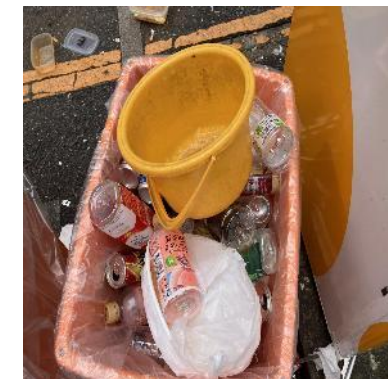
＊特にインバウンドの来街者の方々



3

結果として

リサイクルボックスへの異物混入・周辺のポイ捨てが解消しきれていない



全清飲の取組（現在）

→ 事業者としてできる「入口（容器）」「出口（回収）」の対策は進めている

事業系回収PETボトルの品質向上

特に自販機横リサイクルボックスからなどの事業系回収PETボトルの品質向上を課題認識し、対応を行っている

2030年ボトルtoボトル
比率目標 50%

図12. ボトルtoボトルへの再生PET樹脂利用量とボトルtoボトル比率の推移



* 2024年度ボトルtoボトル比率は **37.7%**

自治体と協力した啓発活動

自治体HPへ掲載、動画・ポスター・街頭表示、学校・地域での教育など普及啓発を各地で実施

ポスター（喫煙所/多言語化）



動画宮下パーク/原宿



路面シート（区道）



新機能リサイクルボックスの設置

投入口を下向き・小型化し、異物が入りにくい構造のリサイクルボックスを順次展開中



環境教育連携



ねりま環境まなびフェスタ



新宿3Rフェスタ



市発行の広報誌



新機能リサイクルボックスの実証実験結果（これまで）

→ 新機能リサイクルボックスは異物混入率を**10ポイント**以上引き下げる効果を確認

（出典：全清飲・各自治体の実証実験結果報告） 分析方法：内容物組成分析（個数ベース）

異物混入率
52%→41%

東京都渋谷区（令和2年度）投入口
を下向きにした新機能リサイクルボック
スを設置し、従来型と比較。

異物混入率
42%→25%

広島市（令和3年10～11月・16地
点） 異物が減った分、飲料容器の回
収スペースを約20%多く確保できた。

異物混入率
26.6%→20.2%

大阪府（令和4年度・20か所） 従来
型リサイクルボックスの「ごみ箱化」を確
認。新機能リサイクルボックスで異物混
入・周辺散乱の抑制効果を検証した。

しかし

— 場所によっては**まだまだ改善されない現状がある** —

→ 新機能リサイクルボックスは異物混入率を引き下げる効果があるものの依然**20%～30%**の異物は残ってしまう

課題は残っている

リサイクルボックス内の一般ごみが減らない

弁当容器・紙くず・たばこ・飲み残し・危険物・酒類容器等の混入が続き、選別の負担とリサイクル品質の低下を招いている

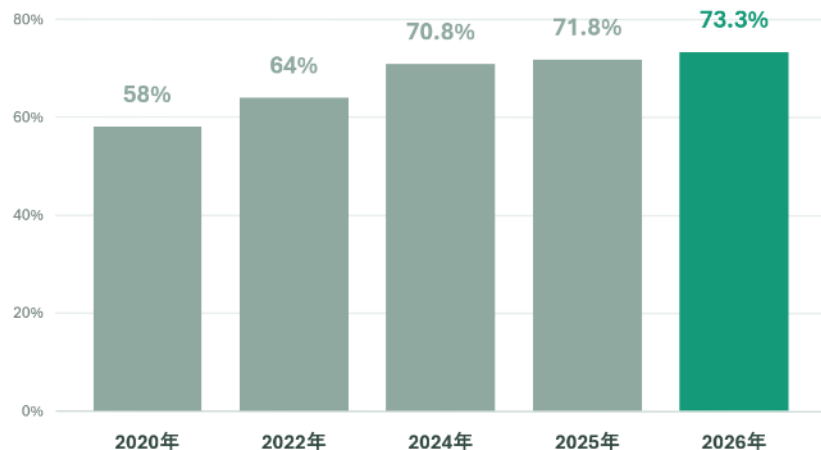
リサイクルボックス周辺へのポイ捨てが続く

満杯・設置時間外には、リサイクルボックスの周囲に置き去りにされ、散乱ごみとして残ってしまう

背景：リサイクルボックスが「**まちの唯一のごみ箱**」になっている

公共のごみ箱が撤去された一方で、まちなかで出るごみの行き先は残ったまま。行き場を失ったごみが、飲料容器の回収装置であるリサイクルボックスに集中している。

自販機横ボックスがリサイクルボックスであることの認知率



認知率は6年間で 15.3ポイント向上

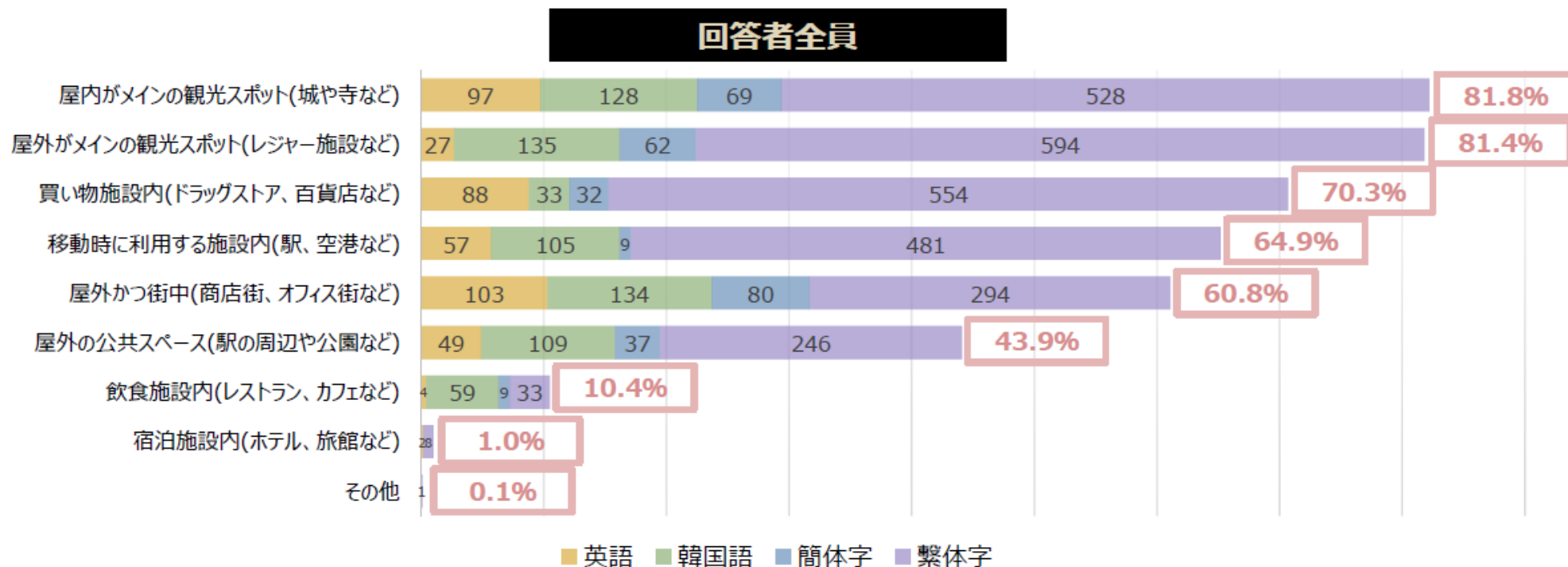


(参考) 訪日旅行中の困りごとに関する調査

集計データ：日本滞在中困ったこと「ゴミ箱」

Q.日本を旅行中、「ゴミ箱」の少なさ・わかりにくさで困った具体的な場所をすべてお選びください。

【回答者全員】(1163人)の中で「ゴミ箱の少なさ・場所のわかりにくさ」と回答した人(1005人)によると、困った場所1位は「屋内がメインの観光スポット(城や寺、美術館など)」で81.8%。次いで「屋外がメインの観光スポット(レジャー施設、大型の公園など)」で81.4%でした。



単位：人

東京都・関係者をお願いしたいこと

※ごみ箱の再設置は「散乱ごみを増やす」のではなく、行き場を与えることで散乱を減らす取組と考えています。

公共ごみ箱の再設置を

撤去前の水準を目安に、駅前・公園・繁華街など発生量の多い場所から段階的な再設置のご検討を

役割の明確な発信を

「リサイクルボックスは飲料容器の回収ボックス、ごみ箱ではない」

ということを、全清飲と一緒に都の広報でも統一的に発信いただきたい

「捨てる場所」と「正しく分ける仕組み」を、都・自治体・全清飲と一緒に整えたい。

東京都廃棄物審議会 第2回検討部会説明資料

【 内 容 】

1. 食品容器環境美化協会(食環協)の概要
2. アダプト・プログラムの概要
 - (1) 仕組み・特徴
 - (2) 全国普及状況及び概況
 - (3) アダプト・プログラムの導入効果
3. アダプト・プログラム事業
 - (1) アダプト・プログラム活動団体への助成
 - (2) アダプト記念日プロモーションイベント及びTOKYOクリーンアップアクションとのコラボイベントの実施
3. アダプト・プログラムの課題と今後の展開



公益社団法人食品容器環境美化協会
2026年10月

1. 食品容器環境美化協会(食環協)の概要

飲料6団体で構成されている公益社団法人



統一美化マーク

1. 沿革

- 1973年 **空き缶の散乱問題に対処するため**、飲料メーカーの団体(当時、日本園芸連を含む7団体。)により「食品容器環境美化協議会」設立。
- 1981年 統一美化マークを採用
- 1982年 「社団法人食品容器環境美化協会」として農林水産大臣から公益法人の設立認可
同年、「地方連絡会議」を設立し現在に至る(全国42地連)
- 1998年 **アダプト・プログラム活動の普及推進開始**
- 2000年 環境美化教育優良校等の表彰事業開始
- 2011年 内閣総理大臣からの公益社団法人への移行認定を受けて新しい法人として再発足
- 2024年 第8期中期計画がスタート。2026年度まで。
- 2024年 アダプト・プログラム記念日(9月29日)制定

2. 目的(現在の定款)

食品容器の散乱防止等を図り、伝統ある国土の環境美化等に努めることにより、公共の福祉の増進に資することを目的とする。

＝飲料容器の散乱防止・啓発

3. 会員(6団体)

- コカ・コーラ協会
- 一般社団法人全国清涼飲料連合会
- 一般社団法人 全国トマト工業会
- 一般社団法人 日本果汁協会
- 日本コーヒー飲料協会
- ビール酒造組合

4. 主な事業

「アダプト・プログラム」

- ・情報センター、イベントへの参画
- ・調査・情報収集、活動団体への支援

「環境学習支援」

- ・学校表彰 ・先生向け学習ガイドの発行
- ・まち美化キッズサイト(環境学習サイト)

「散乱防止啓発」

- ・他団体との協働 ・散乱防止啓発PR、等

2. アダプト・プログラムの概要

(1) 仕組み・特徴

Adopt(アダプト) = 養子縁組をする

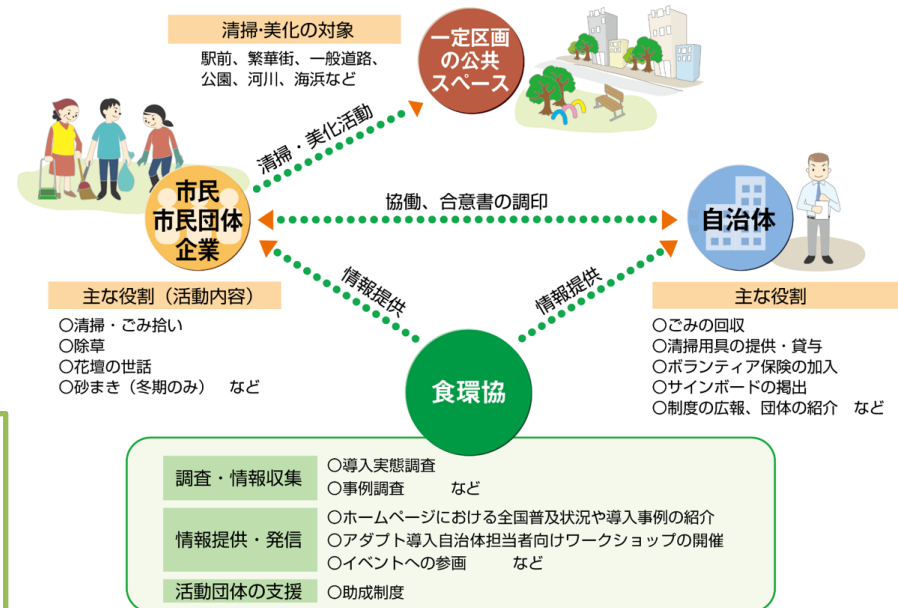
ある道路や公園、河川などの公共の場所の一定区間を「わが子」にみたて、市民が「親」となって、「わが子」を愛情をもって面倒(清掃活動・まち美化活動)をみ、行政がこれを支援する制度です。

特徴

- ・市民と行政の協働で行われる
- ・継続的な活動
- ・地域密着型清掃活動

1985年 米国で始まる
1997年 第1回アダプト・プログラム制度研究会開催
1998年 日本で初めて導入(徳島県・神山町)
2001年 北海道～九州まで全国に普及
2011年 参加者数100万人を超える
2012年 アダプト・プログラム助成制度開始
2024年 アダプト・プログラム記念日(9/29)を制定
寄付制度開始

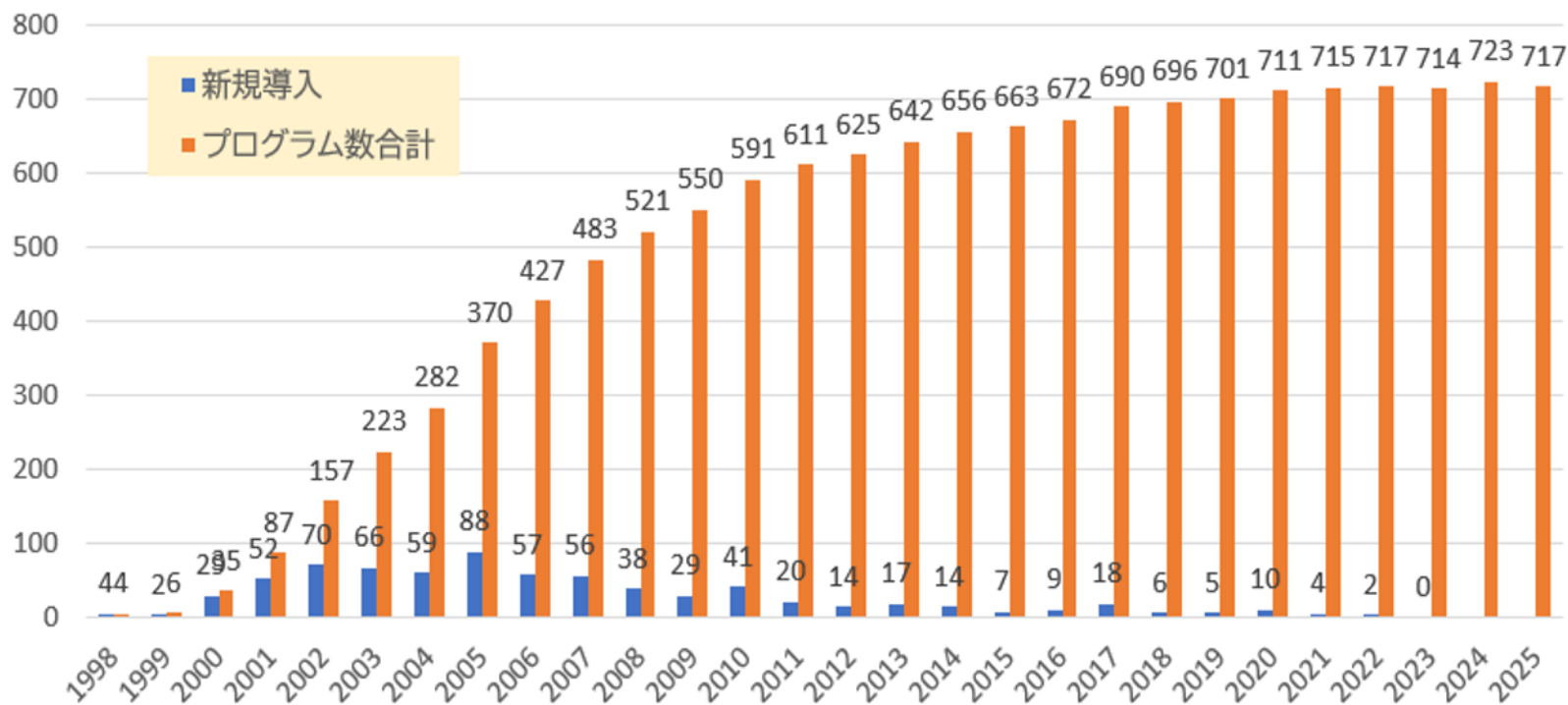
食環協によるアダプト・プログラムのサポート機能



(2) 全国普及状況及び概況

2026年3月現在 実施自治体数： 519自治体 プログラム数： 717プログラム
(推計値)参加団体数： 約51,000団体以上 活動者数： 約170万人以上

【プログラム数推移】



(注)プログラム数:各自治体におけるアダプト・プログラムの制度の数。1自治体で道路のプログラム、河川のプログラムなど、複数の制度・仕組みを有する例があります。

(3) アダプト・プログラムの導入効果

① 直接的効果

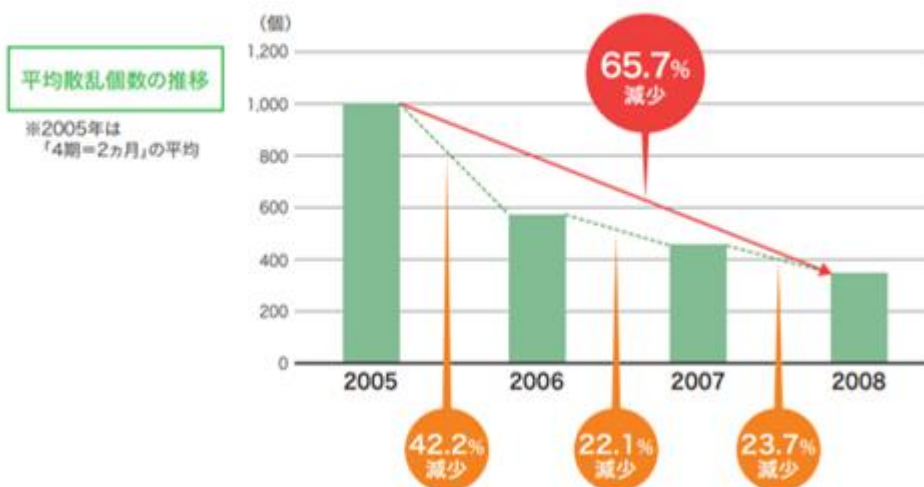
アダプト・プログラム活動により、継続的にごみを拾い続けることで散乱ごみの量が減少し、更にその美化効果でポイ捨てが抑止され、減少状態が維持されることとなる。

導入効果実態調査（麻布大学・アザプト活動成果）

麻布大学・相模原市・食環協の3社協働施策

実施内容：月2回清掃＋調査活動

清掃範囲：矢部駅～麻布大学（延べ475m）



② 副次的効果

アダプト・プログラム活動の副次的効果として、

- ・ 地域全体の環境保全活動への進展、
- ・ 地域の連携の推進、
- ・ 地域への愛着の涵養、
- ・ 地域の交流・コミュニケーションの場の提供、
- ・ 高齢者の活動の場の提供、
- ・ 障がい者の地域進出の機会の提供、
- ・ 身近にできるエコ活動として若年層の取込み、
- ・ 防犯・防災効果

等が期待される。

3. アダプト・プログラム事業

(1) アダプト・プログラム活動団体への助成

食環協では、アダプト・プログラム活動を更に充実・拡大しようとする団体等を対象に、清掃活動やポイ捨て防止活動に必要な経費、グッズ等について助成・支援を行っている。

○ 2026年度助成対象団体(東京都内)

○助成金コース
千人町二丁目町会(東京都八王子市)



八王子市のアダプト・プログラムである「水辺の水護り制度」に登録し、南浅川土手の不法投棄物の撤去、草刈り活動を実施。

○助成金コース
五反田駅前をきれいにする会(東京都品川区)



東京都のアダプト・プログラムである「東京ふれあいロード・プログラム」の認定団体として駅周辺の建設会社や飲食店、大学生と連携し清掃活動等を実施。

○助成金コース
学校法人西田学園アルファ医療福祉美容専門学校
(東京都町田市)

町田市のアダプト・プログラムである「アダプト・ア・ロード事業」に登録し、シルバー人材センターとも連携を図りながら、校外美化の清掃活動に従事。

○グッズコース
株式会社安藤・間(東京都港区)



東京都のアダプト・プログラムである「東京ふれあいロード・プログラム」の認定団体として都道の歩道約1キロメートルのごみの清掃活動を実施。

(参考)

東京都・市区町村アダプト・プログラム一覧

2026.10現在 食環協調べ

自治体名	アダプト・プログラム名
東京都	<u>東京ふれあいロード・プログラム</u>
千代田区	アダプトシステム（道路や公園等の公共施設の環境美化活動）
中央区	中央区緑のアダプト活動
港区	港区アダプト・プログラム
新宿区	公園のサポーター制度
	道のサポーター制度
文京区	文の京ロード・サポート
台東区	台東区まちの美化里親制度
墨田区	道路緑化ボランティア登録制度
江東区	わがまち江東・きれいに活動
	わがまち江東・月いちアダプト
	わがまち江東・わたしもアダプト
品川区	みどりと花のボランティア
目黒区	公園の活動登録団体
大田区	おおた花街道
	ふれあいパーク活動
	アダプト・プログラム
杉並区	すぎなみ公園育て組
	花咲かせ隊
	すぎなみ美・道路組（道路里親制度）
	地域清掃支援活動
北区	東京都北区美化ボランティア制度
荒川区	荒川バラの会
	グリーンサポートシステム
	街なか花壇づくり事業
練馬区	環境美化推進地区・環境美化活動団体
	住民グループによる公園清掃（公園等の住民自主管理）
	違法広告物除去協力員制度
足立区	清掃美化活動実施団体
葛飾区	公園等の自主管理
江戸川区	江戸川区アダプト制度

自治体名	アダプト・プログラム名
八王子市	<u>八王子市水辺の水護り制度</u>
	八王子市公園アドプト制度
	八王子市道路アドプト制度
	八王子市公共施設アドプト制度
立川市	立川市ロードサポーター制度
三鷹市	三鷹市みちパートナー制度
	三鷹市公園ボランティア制度
昭島市	昭島市公共施設アダプト事業（制度）
	昭島市公共施設アダプト事業（道路）
	昭島市公共施設アダプト事業（花壇・崖線）
	昭島市公共施設アダプト事業（公園）
町田市	町田市花壇コンクール
	<u>町田市アダプト・ア・ロード事業</u>
	町田市下水道用地等アダプト事業
	町田市公益的活動団体制度
小金井市	小金井市環境美化サポーター制度
小平市	小平市公園・道路等ボランティア制度
	公園アダプト制度
国分寺市	公園サポート事業
福生市	福生市公園ボランティア制度
	福生市道路美化ボランティア制度
	違反広告物撤去協力員制度
狛江市	狛江市アドプト制度
東大和市	東大和市道路アダプト制度の試行
清瀬市	清瀬市まち美化推進協議会
武蔵村山市	公園・緑地等ボランティア制度
多摩市	多摩市道路施設等の管理に係るアダプト制度（公園）
	多摩市道路施設等の管理に係るアダプト制度（道路）
稲城市	稲城市公共施設アダプト制度（道路・水路）
	稲城市公共施設アダプト制度（公園・緑地）
あきる野市	あきる野市公共施設アダプト制度
奥多摩町	奥多摩町公共施設アダプト制度

(2) アダプト記念日プロモーションイベント及びTOKYOクリーンアップアクションとのコラボイベントの実施

- 9月12日から10月12日にかけて、スタートアップ企業である(株)ピリカと連携し、「アダプト・プログラム記念日 9月29日」の制定を記念した、参加者へ食環協オリジナルオンラインバッジを付与する「アダプト・プログラム記念日ごみ拾いオンラインイベント」をPR事業として実施。
- 今年度は更にTOKYOクリーンアップアクションとコラボし、併せて「TOKYOクリーンアップアクション×アダプト・プログラム記念日 コラボレーションイベント」を実施。同イベントの参加者に対し、コラボを象徴する今回限定の特別なオンラインバッジを付与しているところ。



ピリカ公式
アダプト・プログラム記念日
クリーンアップキャンペーン2026
のお知らせ



実施期間：2026年9月12日（土）～10月12日（月）

全国で市民と地域が協働で進める地域密着のまち美化プログラム「アダプト・プログラム」は今年で28周年！
9月29日の「アダプト・プログラム記念日」に合わせ、ごみ拾いオンラインイベントを開催します。
是非ご参加ください！

<参加方法>

- ① SNSピリカをダウンロード
- ② 本イベントページにある「参加」ボタンを押す。
- ③ 期間中にごみを拾って投稿しよう！

<アダプト・プログラムとは>
市民と行政が互いの役割分担を定め、両者のパートナーシップのもとで美化を進めるプログラムです。
アダプト(ADOPT)とは英語で「〇〇を養子にする」の意味。一定区画の公共の場所を養子にみ立て、市民がわが子のように愛情をもって面倒をみる(＝清掃美化を行い)、行政がこれを支援します。

※アダプト・プログラム記念日クリーンアップキャンペーンは、
「TOKYOクリーンアップアクション」
「クリーンアップひょうご」
「World Cleanup Day2026」
とも連携しています







株式会社ピリカ
・日本発、世界へのごみ流出対策スタートアップ
・ごみ減量分野で世界最大のデータを保有
・環境スタートアップ大臣賞など多数受賞



食料資源再生
食品資源循環美化協会
The Resource Industry Environment Beautification Association



食環協オリジナルオンラインバッジ



TOKYOクリーンアップアクション
コラボオンラインバッジ

2026年度実績速報値（重複あり）

参加者：546名
ごみ総数：70,840ℓ

参加者：260名
ごみ総数：34,196ℓ

4. アダプト・プログラムの課題と今後の展開

(1) アダプト・プログラムの課題

食環協が毎年度実施している地方自治体アンケートや地方自治体担当者セミナーにおいて、アダプト・プログラム推進に向けた課題として、地域活動主体の高齢化・減少、アダプト・プログラムの認知・PR不足があげられている。さらに、若年層の新規参加者が増えにくい理由として活動の負担感を指摘する声がある。

(2) アダプト・プログラムの課題解決へ向けた今後の展開

引き続きアダプト・プログラムの情報提供・発信、活動団体への助成・支援等を実施するとともに、課題解決へ向けて、

- ① 町内会等従来の地域活動主体が、地方企業、飲食店、NPO、学生等新たな取組主体と連携して取り組む活動の促進策の実施（例：連携した場合の助成優先採択）、
- ② アダプト・プログラム活動のPRに資するとともに、若年層が負担感なく気楽に参加できる環境美化活動として、SNSピリカと連携し、「アダプト・プログラム記念日 9月29日」の制定を記念した「アダプト・プログラム記念日ごみ拾いオンラインイベント」の実施

等に引き続き取り組んでいくこととしている。

(3) 東京都や関係者に求める事項

今年度TOKYOクリーンアップアクションとコラボし、「TOKYOクリーンアップアクション×アダプト・プログラム記念日 コラボレーションイベント」を実施させていただき、相乗効果を高めたところであり、引き続き東京都の取組と連携させていただきたい。

東京都廃棄物審議会 第2回検討部会用資料

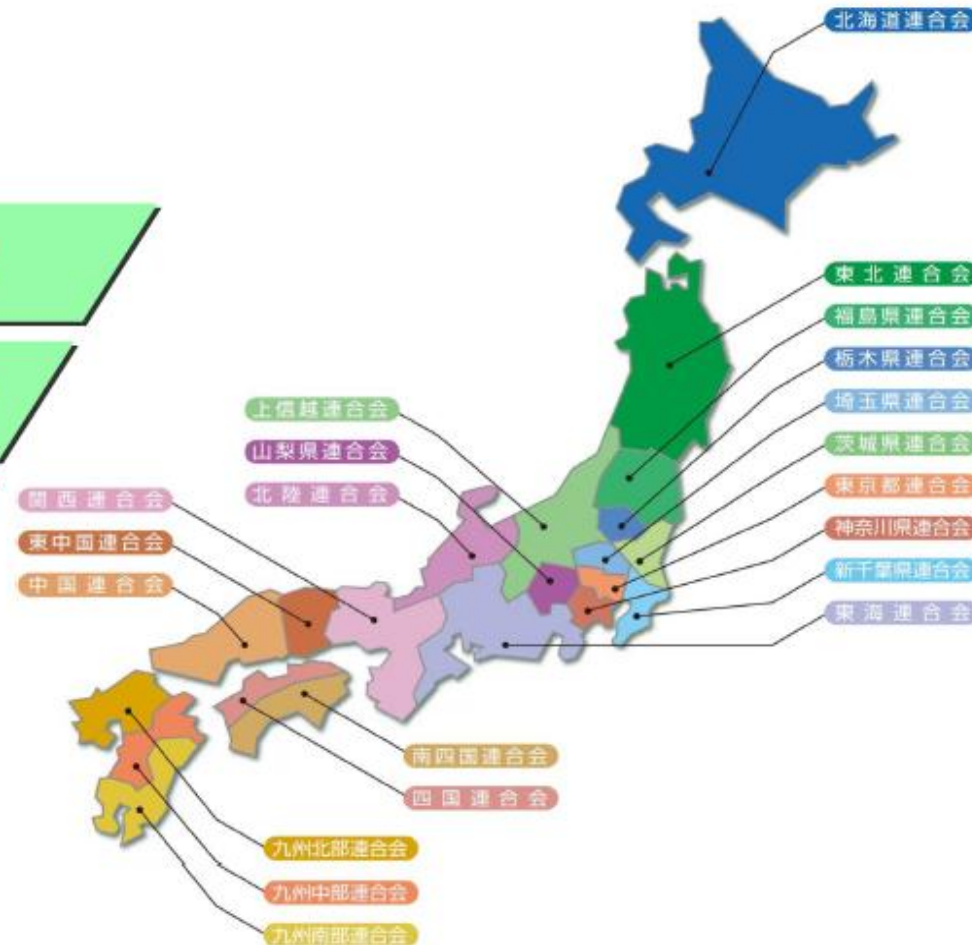


東京都たばこ商業協同組合連合会
2026年10月22日

たばこ組合の「ご紹介」

- まちの「たばこ屋さん」が集まった商業協同組合： 全国の約2.5万店（2025年末時点）
- 全国たばこ販売協同組合連合会（以下、全協）は、各地域21連合会（164組合）で構成
 - ✓ 東京都たばこ商業協同組合連合会（以下、たばこ都連）は、5組合（6支部）および賛助会員で構成
※約1300店（2025年末時点）

【組織図】



➤ 役割

- ✓ たばこ販売業の改善発達に資するとともに、組合員の自主的な経済活動を促進し、その経済的社会的地位の向上を図る

【主な取り組み：全協および傘下組合/支部と連携し実践】

- 事業環境の維持／改善：たばこ事業法の堅持、**喫煙環境の整備※（望まない受動喫煙の防止／分煙推進）**
※組合員店頭へのスタンド灰皿設置とともに、地方たばこ税（Appendix① 参照）の一部を活用した喫煙環境整備を、行政（議員）や地域に要望
- 組合員経営サポート：情報発信、組合員コミュニケーション機会提供、販促ツール作成提供（斡旋）、taspo自販機サポート
- 社会貢献：**街頭美化活動、喫煙マナー訴求**、20歳未満喫煙防止

《街頭美化活動について特記：一部 全協HP抜粋》

- ・屋外における地域環境美化や、良好な喫煙環境維持と喫煙マナーの啓蒙を図る目的
- ・昭和40年代から、全国の組合員を中心に取り組みを開始
※たばこ組合主催分以外にも、地域自治体が主催する市民清掃活動に積極参加
- ・2025年度は、全国で年間4000回以上／延べ約50000人を動員
※たばこ都連は、2025年度に263回／3156名を動員し該当美化活動を主催（地域自治体主催分を除く）
⇒Appendix ②③参照

1. ゴミ（吸い殻）を捨てる場所の増加が最優先

⇒街頭美化活動の中で、「捨てる場所がない」という都民が困っている声が多数聞かれている状況

⇒民間調査会社のレポートでは、2 3 区内の公衆喫煙所が少な過ぎるという結果あり（Appendix④参照）

（１）行政が管理するゴミ箱（喫煙所）の大幅な増加と、適切な管理

- ・区市町村向け財政支援制度の創出・継続・拡充および設置要件の見直し
- ・散乱ゴミが多いエリアへの優先的なゴミ箱・喫煙所の設置
 - ※都が管理する施設や都道等においてもゴミ箱・喫煙所の整備を推進いただきたい
- ・ゴミ回収・清掃頻度の向上
 - ※ゴミ箱が溢れかえり周辺にポイ捨てされている事案が散見（マナー向上だけでなく、適切な維持管理も重要）

（２）民間と連携した公衆ゴミ箱（喫煙所）運用を検討

- ・集客施設や観光地周辺における民間事業者向け助成制度の創出
- ・コンビニエンスストアや商業施設等と連携したゴミ箱・喫煙所の設置促進
 - ※店舗側は自店購入物以外（家庭ゴミ等）の持ち込み懸念あり＝店頭にゴミ箱等を設置したがるらない
 - ⇒商業施設がメリットを感じられる制度創出：（１）より場所確保が容易で維持管理費が安価と想定

2. 来訪者にも分かりやすいゴミ箱／喫煙所の場所案内を徹底

⇒多くの方（特に日本人）は、捨てる場所が分かればマナー違反をしない（Appendix⑤参照）

（１）現地での案内強化

- ・散乱ゴミが多いエリアにおける案内看板・ポスターの設置

（２）デジタル情報の充実

- ・スマートフォン等で確認できる公衆ゴミ箱・喫煙所マップの整備
- ・民間地図サービスとの連携による情報発信

3. インバウンド客も含めたマナー啓発の徹底と、中期的な教育の実施

（１）マナー啓発の強化

- ・多言語による看板・ポスターの掲出や巡回指導の実施
- ・観光・旅行関連事業者と連携したマナー周知

（２）環境美化教育の推進

- ・小中学校等における環境美化・ゴミ削減に関する教育機会の充実
- ・官民連携による地域清掃・美化活動の充実

★「過料」を検討する前に、まず「１」ゴミ箱・喫煙所の整備を優先的に推進し、
「２」「３」を並行して進めることで、実効性を高めるべき

Appendix

Appendix①:地方たばこ税収(2025年度東京都および市区町村)

◆たばこ都連調べ (たばこ税収パンフレット)

・東京都/市区町村の全体で、
令和7年度は「約1204億円」の
地方たばこ税収
※令和6年度は約1215億円

⇒地方たばこ税の一部を活用した
分煙環境整備により、たばこを吸
う方・吸われない方が共存できる
社会の実現を目指す
※公衆喫煙所の増設
※助成制度の充実

令和7年度 東京都全体では1204億円のたばこ税収

令和7年度 行政区別たばこ税見込額調べ							
行政区分	令和7年度 たばこ税見込額 (千円)	前年比	住民1人 当り税額 (円)	行政区分	令和7年度 たばこ税見込額 (千円)	前年比	住民1人 当り税額 (円)
東京都	16,975,212	99.3%	1,206	武蔵野市	860,769	98.7%	5,818
千代田区	3,009,468	99.4%	43,528	三鷹市	825,638	99.5%	4,321
中央区	2,637,631	101.5%	13,809	調布市	1,298,826	99.7%	5,388
港区	6,175,886	108.5%	22,884	小平市	870,600	100.1%	4,410
品川区	3,265,269	97.8%	7,856	小金井市	528,330	100.3%	4,194
大田区	5,101,409	100.2%	6,847	西東京市	1,066,373	98.9%	5,146
新宿区	5,380,101	89.8%	15,150	東久留米市	612,629	98.8%	5,255
文京区	1,037,639	98.8%	4,379	狛江市	377,734	101.2%	4,592
台東区	3,229,149	98.2%	14,846	清瀬市	401,890	102.8%	5,310
墨田区	2,299,032	100.5%	7,960	立川市	1,333,638	100.7%	7,115
江東区	3,961,913	100.2%	7,294	府中市	1,432,376	98.0%	5,464
渋谷区	3,170,453	100.7%	13,732	昭島市	811,741	100.2%	6,995
目黒区	1,753,790	95.3%	6,206	国分寺市	791,405	89.3%	6,084
世田谷区	4,487,055	97.1%	4,832	東村山市	722,089	98.5%	4,746
中野区	2,086,427	98.7%	6,069	国立市	420,692	100.5%	5,502
杉並区	3,097,124	101.0%	5,316	国大和市	565,705	99.0%	6,656
北区	2,347,101	93.1%	6,388	武蔵村山市	531,452	99.9%	7,531
豊島区	3,144,689	101.2%	10,619	八王子市	3,515,021	100.1%	6,291
足立区	5,434,355	99.4%	7,726	町田市	2,420,100	99.4%	5,623
荒川区	1,515,054	99.9%	6,740	日野市	919,807	98.6%	4,862
板橋区	3,927,000	101.1%	6,730	稲城市	470,678	100.4%	4,983
練馬区	3,707,423	99.7%	4,940	多摩市	817,612	100.8%	5,515
江戸川区	5,318,254	101.1%	7,626	青梅市	892,441	98.6%	6,941
葛飾区	2,976,825	92.2%	6,299	福生市	425,001	99.2%	7,470
(特別区計)	79,063,047	99.1%	8,070	あきる野市	450,700	98.9%	5,737
[参考]				瑞穂町	439,794	98.3%	13,757
東京都全体	120,444,512		8,556	奥多摩町	18,096	96.4%	4,142
* 協賛市の市町村たばこ税も含まれます。国たばこ税は含みません。				羽村市	434,595	100.0%	8,055
出典：東京都たばこ商業協同組合連合会調べ				日の出町	147,707	100.7%	9,351
				檜原村	2,814	104.5%	1,479
				(都下計)	24,406,253	99.2%	5,732

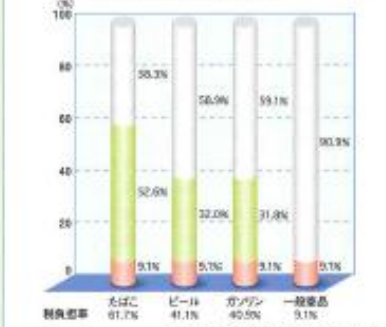
ぜひ、たばこは地元で買しましょう。

たばこ税の「事実」を知ってください。

たばこは、我が国において 最も税負担率が高い物品のひとつです

高負担税物品といわれるものの中においても、
たばこの「6割」という税負担率は最も高い水準
にあります(2026年7月現在)。

●高負担税物品の税負担率比較

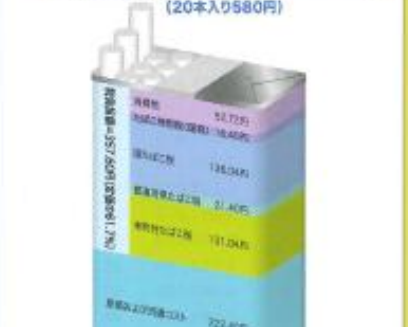


※2025年度 消費税率10%適用税率(2025年度東京都区部)
たばこ 61.7%、ビール 41.1%、ソフトドリンク 40.5%、一般物品 9.1%
※10%適用税率(2025年度東京都区部)
たばこ 58.0%、ビール 38.0%、ソフトドリンク 37.5%、一般物品 8.6%

たばこの61.7%が税金です

たばこの価格には、国たばこ税、地方たばこ税、
たばこ特別税、消費税の4種類の税金が含まれ
ています。これらを含めると税負担率はいまや
61.7%にも達します(2026年7月現在)。

●紙巻主力銘柄のたばこ税負担率 (20本入り580円)



たばこの税負担率合計: 357.60円/箱(61.7%) ※1箱580円の商品の場合

たばこは地元で買しましょう!

地方たばこ税は、愛煙家の皆さんが「お買い」になった
小売業者(たばこ屋さん)の所在する都道府県、区
市町村の税収となります。東京都全体の1204億
円のたばこ税の内、1035億円が区市町村の税収
となっており、地方自治体の財源確保の責、貴重な
財源となっています。

ぜひ、たばこは地元で買しましょう。

たばこ税を支えているのは?

たばこ税は、全国約1600万人の愛煙家が最終的
には負担していることとなりますが、小売業者(た
ばこ屋さん)は、仕入れたたばこが売れる、売れ
ないにかかわらず、仕入れ時に愛煙家に代わって
たばこ税を納めています。
こうしたことから、たばこ税は愛煙家と小売業者
(たばこ屋さん)によって支えられており、自治
体にとっては、徴税コストのかからない優等生の
税金なのです。

愛煙家とたばこを吸われない方が共存する社会を

昨今、たばこを吸われない方への配慮から公共施設、駅、さらには路上での禁煙化を行うケースが多くなっ
てきました。2020年4月からは、東京都受動喫煙防止条例が全面施行されて屋内が原則禁煙となりました。愛煙家
の立場からすれば、たばこの税収には目をつむり、一方的に喫煙環境が狭められていくというジレンマがあります。
また、「喫煙の社会コスト」と称して、愛煙家には医療費等たばこ税収以上のコストがかかっているとの根拠の薄い
不当な議論もなされています。愛煙家のみなさんの喫煙マナーを高め、たばこを吸われない方と共存、共生を
はかりながらたばこの安定的な税収を地域に役立てていく。わたくしたちは、そのような社会が、成熟したあるべき
社会と考えています。

Appendix②:2025年度 たばこ都連 美化活動実績

2025年度「延べ」		
組合/支部		回数
		参加者数
東京中央組合		20
240		
渋谷組合		12
144		
新宿文京組合		24
288		
北豊島組合		24
288		
新東京組合	東京東部支部	28
	336	
	江戸川葛飾支部	38
	456	
	足立荒川支部	33
	396	
	大田品川支部	40
	480	
	中野支部	10
	120	
	板橋練馬支部	29
	348	
賛助会員		5
60		
合計		263
3156		

【開催場所別の回数（1回当たり吸い殻が多い順に並び替え）】

開催場所	回数	開催場所	回数	開催場所	回数
JR東中野駅周辺_他	1	東武線下赤塚駅周辺	3	東武浅草駅周辺	4
JR中野駅周辺	9	東武線大山駅・板橋区役所周辺	1	JR新小岩駅周辺	3
JR新宿駅東口周辺	4	地下鉄森下駅周辺	1	地下鉄西葛西駅周辺（午前）	5
JR池袋駅西口周辺	6	JR浜松町駅周辺	16	西武線大泉学園駅周辺	2
JR赤羽駅周辺	12	地下鉄後楽園駅周辺	8	東横線自由が丘駅周辺	10
JR新宿駅西口周辺	3	JR上野駅周辺	4	JR新小岩駅周辺（午前）	5
JR高田馬場駅周辺	7	JR小作駅周辺	1	東急線二子玉川駅周辺	2
JR池袋駅東口周辺	6	JR錦糸町駅南口周辺	1	地下鉄亀有駅周辺	2
JR北千住駅周辺	10	西武線江古田駅周辺	3	地下鉄西葛西駅周辺	1
JR蒲田駅西口周辺	8	JR錦糸町駅北口周辺	1	JR福生駅周辺	1
東武線上板橋駅周辺	5	JR五反田駅周辺	3	JR東青梅駅周辺	1
JR大井町駅西口周辺	9	JR羽村駅周辺	1	有楽町線氷川台駅周辺	2
JR大森駅北口周辺	8	地下鉄門前仲町駅周辺	1	地下鉄亀有駅周辺（午後）	5
JR大森駅東口周辺	6	西武線練馬駅周辺	2	地下鉄住吉駅周辺	1
千代田線町屋駅周辺	11	JR亀戸駅周辺	6	地下鉄西葛西駅周辺（午後）	5
JR蒲田駅東口周辺	3	地下鉄芝公園駅周辺	1	JR新小岩駅周辺（午後）	5
早稲田通り周辺	2	東武線大山駅周辺	1	西武線中村橋駅周辺	1
東武線ときわ台駅周辺	4	西武池袋線石神井公園駅周辺	3	区民祭り、篠崎公園内（午前）	1
JR大井町駅東口周辺	6	釜の淵公園	1	区民祭り、篠崎公園内（午後）	1
JR錦糸町駅周辺	7	地下鉄東陽町駅周辺	2	東武線西新井駅周辺	
西武池袋線大泉学園駅周辺	2	地下鉄亀有駅周辺（午前）	5	総計	

Appendix③:たばこ都連 全国統一美化週間の風景(たばこ都連HPより)

- 毎年5月30日の「ゴミゼロ（530）の日」から、「世界環境デー」および「環境の日」である6月5日まで、全国のたばこ組合にて、実施期間を集中しておこなう「全国統一美化活動」を展開



美化活動をしながら、
マナー啓発ポケットティッシュを配布

缶ゴミ/ペットボトルなど
しっかり分別/適切に廃棄

多くのポイ捨てゴミの中から
吸い殻の本数を確認

Appendix④:23区では公衆喫煙所が圧倒的に少ない

- 民間調査企画会社「(株)プランワークス社」のレポート(抜粋)
※(株)プランワークス社は、たばこ業界とは無関係の法人



区名	必要設置数	既存設置数合計*	民間喫煙所設置 状況	区名	必要設置数	既存設置数合計*	民間喫煙所設置 状況
千代田区	149	82	○	渋谷区	117	60	○
中央区	93	76	○	中野区	68	9	○
港区	155	113	○	杉並区	105	14	○
新宿区	163	32	○	豊島区	106	7	○
文京区	57	8	○	北区	86	14	○
台東区	100	32	○	荒川区	45	10	○
墨田区	70	8	○	板橋区	105	14	○
江東区	154	22	○	練馬区	116	9	
品川区	118	18	○	足立区	139	19	
目黒区	59	13	○	葛飾区	83	20	○
大田区	167	11	○	江戸川区	112	6	
世田谷区	176	44	○				
合計					2543	641	20区

※本調査では、京都駅周辺の喫煙所の面積を参考にして必要な喫煙所数を算出しているが、設置場所や条件等によって増減する可能性がある。

*既存設置数合計(行政設置+行政指定)
プランワークス政策研究所調べ

Appendix⑤:捨てる場所が分かればマナー違反は減少する

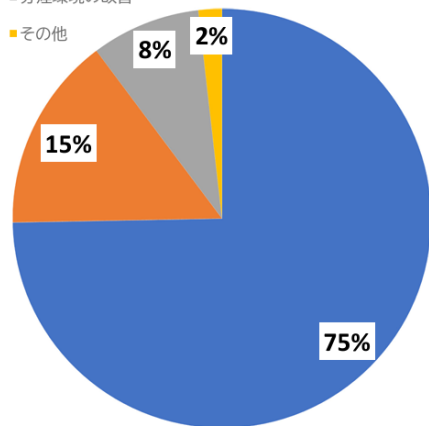
➤ 喫煙所（捨てる場所）が「ある・分かる」ことで、ポイ捨ては減少する

✓ 分煙施設整備による効果として、たばこの「ポイ捨ての減少」が15%

分煙施設整備による効果

回答のあった
166件の分類

- 路上喫煙(喫煙禁止場所での喫煙)の減少
- ポイ捨ての減少
- 分煙環境の改善
- その他



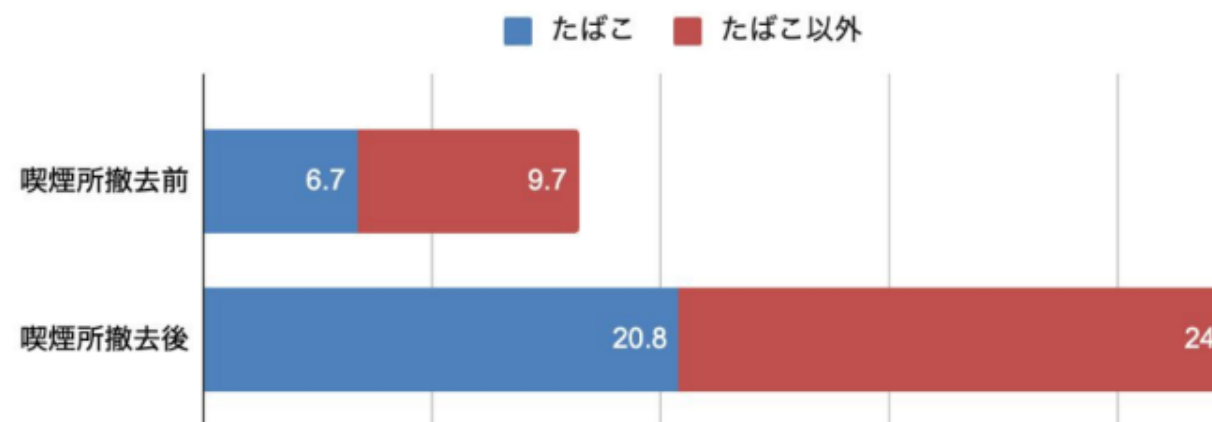
【具体例】

- 路上喫煙(喫煙禁止場所での喫煙)の減少
(三重県 四日市市)
禁煙区域での喫煙などルール違反が減った。
- ポイ捨ての減少
(沖縄県 今帰仁村)
喫煙のマナーの向上やたばこのポイ捨てが減った。
- 分煙環境の改善
(東京都 青梅市)
受動喫煙に関する苦情が減少した。
- その他
(宮城県 川崎町)
整備により、清掃対応が容易になった。
- (岡山県 矢掛町)
施設利用者から利便性・満足度が向上したとの意見あり。

出典：総務省「分煙施設に係る整備方針の策定及び整備状況等に関する調査結果及び参考事例集の送付について」 R7年11月4日

✓ 喫煙所の撤去で、吸い殻ポイ捨てが増加
・たばこ以外の散乱ゴミも2.7倍に増加

100メートルあたりのごみの数



出典：ピリカ社HP「令和4年6月所沢駅周辺ごみ分布調査報告書」

団 体 名	関東鉄道協会
設 立	1947年12月12日
会 員 数	42社（2026年10月22日現在）

都内鉄道事業者 14社

東武鉄道、西武鉄道、京成電鉄、京王電鉄、小田急電鉄、東急電鉄、京浜急行電鉄、東京地下鉄、相模鉄道、首都圏新都市鉄道、埼玉高速鉄道、多摩都市モノレール、東京モノレール、東京臨海高速鉄道、ゆりかもめ

都 内 駅 数 510駅

都内民鉄事業者における鉄道利用者の廃棄物への対応・取組みの現状

■現在の状況と課題について

- ・ 駅構内のゴミ箱は、各社概ね撤去済み。テロ対策への対応の一面もある。
持ち込み家庭ごみも多く、また処理量も多く、設置していた際には対応に苦慮。
- ・ 駅構内は狭くスペース的にも課題が大きい、民鉄は特に狭隘な駅が多い。
- ・ 飲料事業者が設置しているリサイクルボックスに目的外のゴミが投入され、対応に苦慮している。
- ・ 駅の清掃業務の、要員問題や処理コスト増大も課題。

■発生ゴミに対する対応の考え方・地域美観の観点について

- ・ 交通機関内においてゴミの発生量は多くなく、持ち込まれるものが大半。
- ・ ゴミとなる物の発生箇所（観光地・商業施設・近隣飲食店（テイクアウト容器等））において適切に処理をされることが望ましいと思料。

■地域美観の観点について

- ・ ごみの排出側（街やごみ発生の原因となる商業施設等）において、回収・適正処理に取り組むことが重要であると思料。

※中目黒駅のお花見シーズンにおいては、主催者（地域）等が主体的にごみ回収・処理に取り組み、駅構内へのごみの持ち込み抑制につながった事例あり。

都内民鉄事業者における鉄道利用者の廃棄物への対応・取組みの現状

■サステナビリティ（リサイクル）、啓発活動について

- ・一方で、サステナビリティに向けた取り組みとして、リサイクル資源ごみを対象とした回収ボックスを設置し、資源の循環サイクルを強化する取り組みを実施する鉄道事業者もある。

また、地域や沿線住民と一体となった新たな資源循環のプラットフォーム構築を目指し、衣類回収・循環の実証実験を実施している民鉄事業者もある。

- ・マナー啓発（ポイ捨て防止の理解および実践を促す広報）について、引き続き可能な協力していく。これらの連携は都内に限らず、各民鉄事業者の沿線自治体とも協力を行っている。

■廃棄物対応・取組みを行う鉄道事業者等側の負担・評価等について

- ・前述の課題が解消したうえで、民鉄事業者等のインフラ側が、ごみ箱設置や回収協力を行う場合には、回収・資源循環への貢献を適切に評価し、鉄道事業者等の負担が増加することのないよう制度設計を検討いただきたい。

- ・同様に、対応を回収量や資源化量等の実績が環境価値として適切に把握・評価される仕組みを構築し、資源循環に積極的に取り組む事業者が適正に評価される環境整備を求める民鉄事業者もあるので、合わせて検討いただきたい。

JR東日本グループ清掃業務効率化の取組み

2 0 2 6 年 1 0 月 2 2 日
東 日 本 旅 客 鉄 道 株 式 会 社

1 駅舎清掃における効率化の取り組み状況

■現状の清掃業務における課題と目指す方向性

清掃業務の担い手(当社グループ会社)の減少、高齢化が課題

⇒作業の「機械化」「軽労化」「IOT活用」により従来の清掃方法からの転換が必要

■具体的な取り組み状況

交換作業(軽労化)

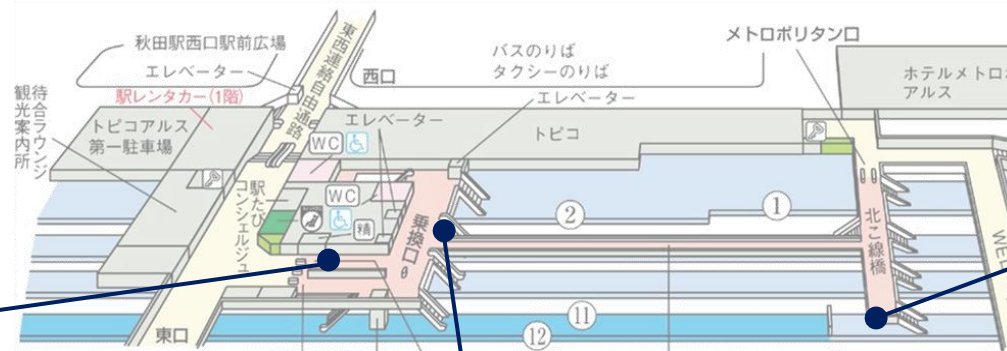
- 長尺トイレペーパーや多連ペーパーホルダーの導入
⇒交換頻度の減少
- 無水灰皿(ローラー式)の導入拡大
⇒交換時の水交換が不要に



CBM清掃(IOT化)

- 従来の定時作業ではなく、汚れが一定レベルに達した時点で清掃する手法
※実証実験を今後実施

※CBM: ConditionBasedMaintenance



床清掃ロボット(機械化・IOT化)

- 床清掃ロボット(HAPiiBOT)、床洗浄機(i-mop・イートレール)の導入、実稼働開始

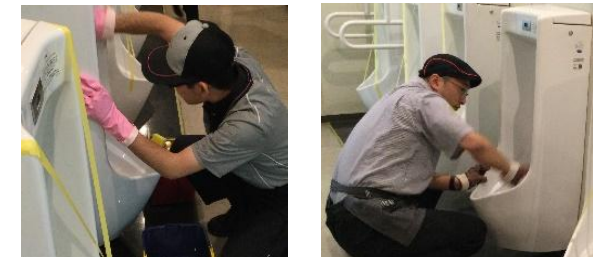
- ※今後、昼間時間帯での無人運用の深度化を検討
- ※列車内での折り返し清掃含む



駅ゴミ箱(軽労化・IOT化)

- 圧縮ゴミ箱の試験運用
小山駅・松本駅にて開始
※詳細は次ページ

トイレ・エスカレーター等(軽労化)



- 清掃しやすい駅舎設備整備を検討
・・・フチレストイレ、コーティングの実施



※上記のほか、作業環境改善(バックヤード整備、コンセント増設等)は継続して取り組む

2 圧縮ゴミ箱(スマートゴミ箱)試験導入について

回収・運搬頻度削減に向けて、圧縮ゴミ箱を試験的に当社管内へ導入し、現在作業データの収集を行っている。
(ゴミ箱内で圧縮するほか、集積状況により回収タイミングをアラートで知らせる)

【設置箇所① 長野県松本駅】 2025年10月設置



2連(一般ゴミ/ビン・カン・ペットボトル)

・駅構内(ホーム上含む)5箇所へ計10台設置

【設置箇所② 栃木県小山駅】 2025年12月設置



3連(一般ゴミ/ビン・カン/ペットボトル)

・駅構内3箇所へ計9台設置

【実施後の変化】 ※現在もトレース中

- ゴミ箱自体の収容力が増えたことにより、**回収頻度が半減以下**に
- 集積状況がシステムで確認できるため、**定時の巡回確認が不要**に

※1回あたりのゴミ回収量が増えることによる回収時の身体的負荷(大きさ・重量)の増加等の意見もあるが、
台車運搬等が可能な駅を対象に、**今後設置箇所を増やしていく**。

3 資源循環に関する取り組み(リサイクルステーション)

廃棄物の分別を推進し資源化するため、従来のゴミ箱より分別を細分化した「リサイクルステーション」の設置を首都圏の駅において2025年度より順次拡大を行っている。

(JR東日本グループの事業活動から生じる廃棄物の再資源化・利活用を行いサーキュラーエコノミーを推進)

【従来のゴミ箱】



【リサイクルステーション】

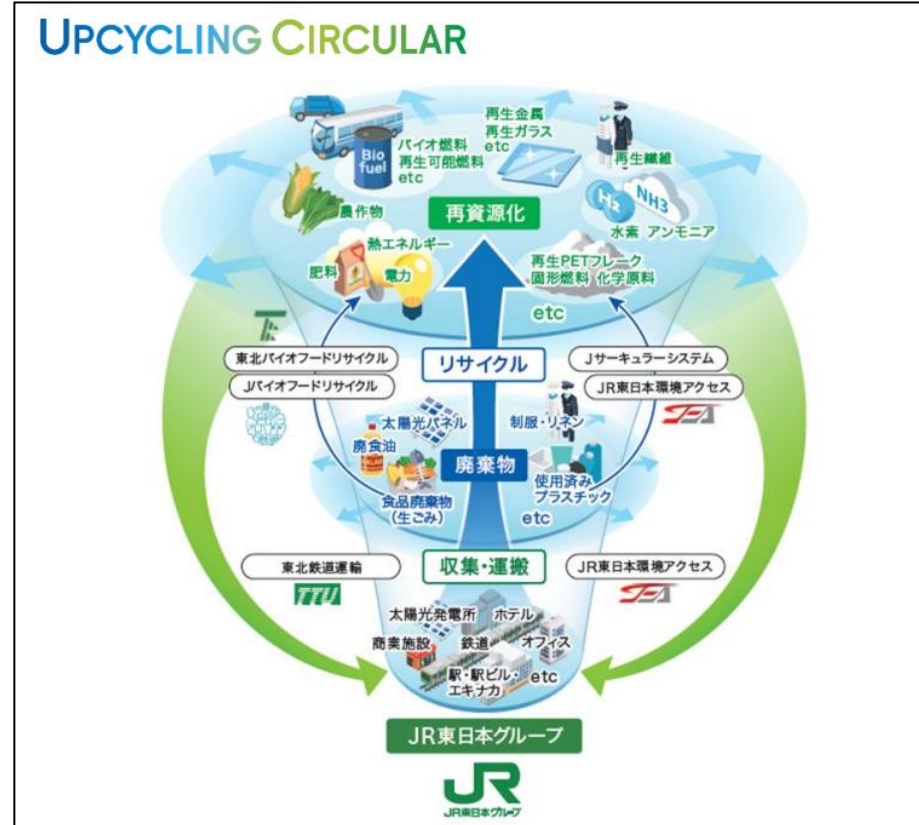


【期待する効果】

分別率の向上により

- ① 廃プラスチックの回収率向上
(「その他ゴミ」の一部が資源に)
- ② ゴミ箱から回収後に行う分別作業
の負担軽減

【資源循環事業コンセプト「UPCYCLING CIRCULAR」】



※廃プラスチックは「Jサーキュラーシステム」にて再資源化を実施

(Jサーキュラーシステム: JFEグループ・JR東日本グループ出資により2023年に設立した使用済プラスチックリサイクル事業会社)

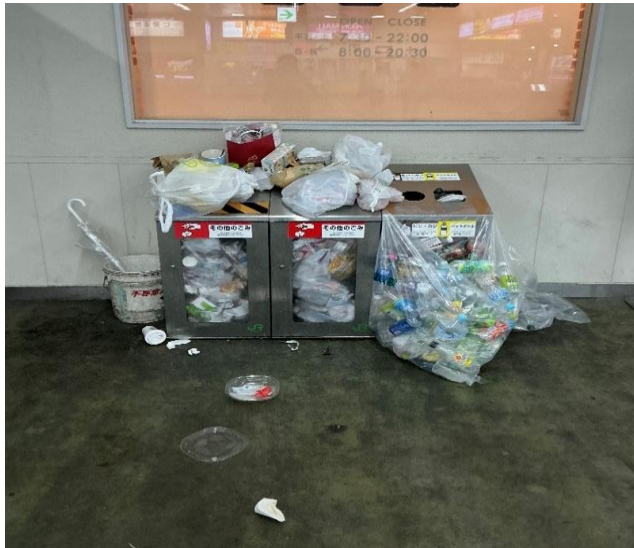
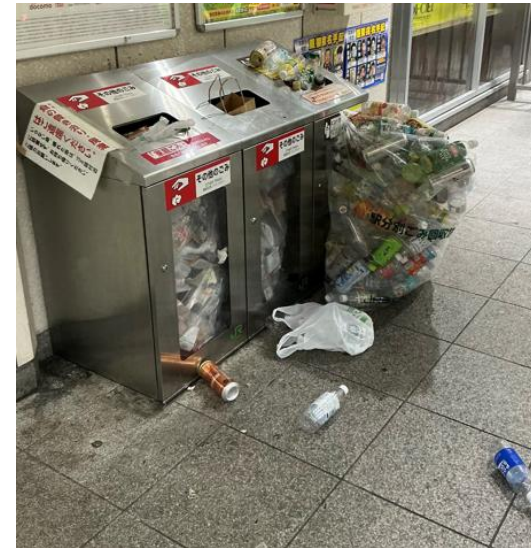
4 東京都および関係者の皆さまへのご依頼事項

■ゴミ箱の設置箇所やゴミ箱回収業務従事者についての効率的な運用方法についての検討

⇒駅舎清掃に関する効率化・軽労化を推進しているが、人手不足は依然として課題

区市町村での適切な箇所へのゴミ箱設置、事業者を含めた効率的な回収方法を共に構築

【参考】一部の駅(東京都外)でのゴミ箱 ※主に夜間で発生



■ゴミを簡素化、または小さく折りたためる容器の開発・利用促進の働きかけ

⇒小さく折りたためる容器(テイクアウトの食品や飲料類)等の開発促進

資料 8

一般社団法人 日本旅行業協会（JATA）

事業概要と観光マナー啓発（インバウンド）として

- P.2 一般社団法人 日本旅行業協会について
- P.3 日本旅行業協会（本部）の取り組み
- P.4 日本旅行業協会（各支部）の取り組み
- P.5 旅行業界の実態
- P.6 外国人旅行者へのマナー啓発として

◆一般社団法人 日本旅行業協会◆

使命：旅行需要の拡大と旅行業の健全な発展を図る

- 旅行需要の拡大と旅行業の健全な発展を図る
- 旅行者に対する旅行業務の改善並びに旅行サービスの向上等を図る
- 会員相互の連絡協調につとめ、旅行の促進と観光事業の発展に貢献する
- 旅行業法に基づく法定業務の他、会員に共通する利益を図る業務
- 社会に貢献する業務などの協会の目的を達成するための業務

◆日本旅行業協会（本部）の取り組み「JATA SDGs アワード」◆

「JATA SDGsアワード」は、旅行業界における「持続可能な開発目標(SDGs)」達成に向けた取り組みの推進を目的に、優れた会員会社の取り組みを表彰するアワードです。
環境部門において会員会社の受賞例として以下をご紹介します。

★「ビーチクリーンで想いを繋ぐ沖縄の離島全島チャレンジ」 沖縄ツーリスト

- ビーチクリーン活動に関心が高い方は多い一方、離島での活動は、地元との調整や移動手段、ゴミ処理に課題があり、個人での実施が難しいのが実情。
- そこで観光客が比較的少なく地域への負担もかかりにくオフシーズン（秋～春）の時期を中心にツアーとして展開することで持続可能な活動を成立させている。
- 実際のツアーでは、クリーン活動自体は1時間程度に留め、ゴミ処理施設や漂着ゴミの集積現場の視察を組み込むことで参加者が現状を知り、課題を認識してもらう機会を提供している。
- さらに沖縄県は子供の貧困率が全国平均の約2倍とされる社会課題を抱えており、クリーン活動を通じて子供の居場所づくりにも取り組んでいる。



回収したゴミをこの後分別



拾ったゴミを使ったアート作品づくりに挑戦



大量の漂着ゴミ



回収後も処理できず積みあがるゴミ

◆ 日本旅行業協会（各支部）の取り組み（社会貢献活動） ◆

- 主たる活動目的：観光地における自然環境保全活動（外来植物の駆除、森林・公園の清掃美化活動など）を中心に展開。
- 現状のフォーカス：地域全体の自然保全を重視しているため、観光客が排出する「散乱ゴミ（ポイ捨て）」問題への直接的な対応には至っていない。

	地区	実施日	活動場所	活動内容
1	北海道	2026年5月19日(火)	洞爺湖有珠山ジオパーク内	昭和新山登山道の整備
2	東北	2026年10月20日(火)	気仙沼「小田の浜海水浴場」	シーズン終わりの海水浴場の清掃活動
3	関東	2026年11月13日(金)	荒川大麻生公園（埼玉県熊谷市）	外来植物駆除又は防火帯づくり
4	中部	2026年10月24日(土)	藤前干潟	ラムサール条約登録湿地周辺の清掃活動
5	関西	2026年5月30日(土) ～31日(日)	熊野古道（和歌山県田辺市）	世界遺産保全活動
6	中四国	2026年11月7日(土)	宮島海岸（広島県廿日市市）	海岸の清掃活動
7	九州	2026年4月15日(水)	国営海の中道海浜公園	森づくり活動（苗木の植樹）

◆ 旅行業界の実態（インバウンド市場における旅行会社取扱） ◆

★ 2025年 訪日外国人旅行消費額*1 9兆4,549億円

★ 2025年 旅行会社取扱額*2 2,502億円 **（シェア 2.6%）**

★ 旅行会社取扱 訪日客数 **約110万人**（訪日客総数 4,268万人換算）

- ✓ 旅行会社の手配率の低さ：日本旅行業協会（JATA）会員をはじめとする国内旅行会社が取り扱う訪日外国人は全体の手配率でわずか約2.6%。
- ✓ 個人手配（FIT）の定着：多くの外国人旅行者は、航空券や宿泊施設を自身で直接予約するか、海外・大手のオンライン専門旅行会社（OTA*3）を利用して訪日している。
- ✓ 参考（グローバルOTAの規模）：世界最大手Booking Holdingsの2025年取扱高は1,861億ドル（約30兆円）に達しており、個人旅行者の予約プラットフォームとして圧倒的な影響力を有している。
- ✓ 実情：旅行会社の窓口や団体ツアーの案内だけでは、多くの比率を占める個人旅行者へマナー指導やゴミ削減のアプローチを行き渡らせることは困難。

*1:観光庁発行 訪日外国人の消費動向

*2:観光庁発行 主要旅行業者の旅行取扱状況速報(2025/4~2026/3)

*3:OTA（Online Travel Agency）じゃらんnet、一休.com、Yahooトラベル、楽天トラベル、Booking.com、Expedia、Agoda、Trip.com等

◆外国人旅行者へのマナー啓発として◆

- 【提言指針】個人旅行者（FIT）主体の市場実態に合わせ、「誰に」「どのように」マナー啓発を届けるかターゲットを明確化したアプローチが必要ではないでしょうか。

①誰に対して行うのか？（ターゲット層の特定）

東京都における外国人延べ宿泊者数（2025年速報値*1 5,104万人）

構成割合上位5か国で全体の過半数（54%）を占める。

1位 中国 921万人(18%) 2位 米国 844万人(16.5%) 3位 台湾 376万人(7.4%)
4位 韓国 366万人(7.2%) 5位 オーストラリア 267万人(5.2%)

②どうやって行うのか？（有効な配信チャネル）

訪日客が出発前に役立った旅行情報源（全国籍・地域、複数回答*2）では
SNS・動画の活用が主流。

1位 SNS 43.3% 2位 動画サイト 39.6% 3位 個人のブログ 23.9%
4位 自国の親族・知人 19.9% 5位 日本在住の親族・知人 12.8%

【比較】旅行会社のホームページ 11.8% / 旅行ガイドブック 8.1% / 旅行会社のパンフレット 4.7%

*1:観光庁発行 宿泊旅行統計調査 2025年速報値

*2:観光庁発行訪日外国人の消費動向

東京都廃棄物審議会 検討部会 | 2026年10月22日

拾う人が増えると、
ポイ捨ては減っていく。

NPO法人green birdの取り組みについて

NPO法人green bird

代表 福田 圭祐、副代表 馬場 悠人

2002年、原宿で働く数人の若者たちが始めたゴミ拾い

私たちのコンセプト

きれいな街は、
人の心もきれいにする。

目的

ポイ捨てのない社会をつくる。

やるべきこと

社会貢献のきっかけになり、
地域のつながりを生む。

参加のしかた

参加条件はなし。誰でも、気軽に。
みんなお揃いの緑のビブスを着て活動。

02 これまでの実績

24年間、毎週どこかの街でゴミを拾っています

国内外のチーム

国内60チーム、海外8チーム

68 チーム

総活動回数

2003年5月から

26,191 回

総参加者数

まもなく50万人

498,227 人



03 東京のチーム

都内には22のチームが活動しています

23区 18チーム

渋谷	渋谷道玄坂	表参道	代官山
新宿	歌舞伎町	新宿二丁目	下北沢
駒沢	赤坂	虎ノ門	日本橋
池袋	大塚駅	中野	杉並
赤羽	蒲田		

23区外 4チーム

吉祥寺	多摩センター	町田	西多摩日の出
-----	--------	----	--------



参加者は必ずしも"環境意識の高い人"ではありません

年代

未就学児～シニア世代まで

参加のきっかけ

社会に貢献したい

ゴミ拾いに興味・関心

地域や人とのつながり

学校の宿題・課題

企業のCSR活動の一環

参加を続ける理由

ゴミ拾いを通じて、
社会に貢献できたという実感

いろいろな人との出会い、
居場所、つながり

数字で見るゴミ拾い

2025年8月～2026年7月

1年間の活動回数

1年間の参加者数

1年間で拾ったゴミの量

国内
60チーム

1,255回

22,352人

7,432 kg

東京
22チーム

441回

9,331人

3,315 kg

ポイ捨てのない社会に向けた、さまざまなプロジェクト



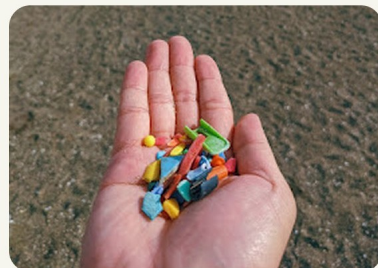
海の自由研究フェス

子どもたちが海の問題を楽しみながら学ぶイベント（2018年から）



ゴミ袋プロジェクト

2019年ラグビーW杯や2023年W杯バレーの試合会場でのゴミ袋配布・回収を実施



マイクロプラスチックに特化したビーチクリーン

東京・葛西海浜公園で実施



アップサイクル 「RePLAMO」

拾った海洋プラごみを、ウミガメのプラモデルに生まれ変える

ゴミ箱や喫煙所がたくさんあっても、ゴミは落ちています



🗑️ ゴミ箱の数 (SmaGO)

13 か所

🚬 喫煙所の数

11 か所



原宿駅前から表参道交差点まで、
約1kmの通りにこれだけあります。

それでも、私たちの週2～3回のゴミ拾いでは、
吸い殻や飲料容器をはじめ、多くのゴミを拾います。

08 18年前に比べると

ポイ捨てゴミの量は確実に減っています！



2008～2009年の活動の様子

NPO法人green bird

2009.02.05 thu 表参道チーム posted by ひろ+あや+いく+えん=大澤

✕ ポスト いいね! B! Pocket



○ ○ ○ ○ ○ ● ○ ○ ○ ○

2010.03.01 mon 表参道チーム posted by あらいみか

✕ ポスト いいね! B! Pocket



○ ○ ● ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○

ごみ拾いの現場で、私たちが感じていること

1

一度「拾う側」になった人は、ポイ捨てをしなくなる。

だからこそ、ゴミ拾いに参加する機会をできるだけ多くの人に届けたいと考えています。

2

ポイ捨てが、本来あるはずのない“ゴミ箱”を生む。

ポイ捨てされたゴミを見て「ここなら捨てていい」という空気が生まれ、ポイ捨てゴミが増えていく。

3

ゴミ箱を増やす、ポイ捨てを罰する、だけでは解決しない。

責任を押しつけ合うのではなく、どう歩み寄れるか、解決策を皆さまと一緒に考えていきたいです。

散乱ごみ対策 検討スケジュール（予定）

令和 8 年度

8 月 2 5 日（火） 廃棄物審議会総会（第 3 3 回）

・ 諮問

9 月 1 4 日（月） 検討部会（第 1 回）

1 0 月 2 2 日（木） 検討部会（第 2 回）

1 0 月 2 8 日（水） 検討部会（第 3 回）

- 
- 部会等での審議（以降 3 回程度）

令和 9 年度

春頃 廃棄物審議会総会（第 3 4 回）

・ 散乱ごみ対策の中間まとめ

夏頃 廃棄物審議会総会（第 3 5 回）

・ 答申